

湖沼水質保全対策事業

アオコ除去技術開発事業報告書

平成13年2月

福井県環境科学センター

ご 挨拶

三方五湖と北潟湖は、若狭湾および越前・加賀海岸国定公園の一部に属する風光明媚な汽水湖で、また、オジロワシやオオワシも飛来する自然豊かな湖です。

この三方五湖の最奥部にある三方湖および北潟湖は富栄養化が進み、その富栄養化の程度は同じ状況です。しかし、三方湖では昭和60年ごろからアオコの発生が例年みられ、特に平成3年ごろからその発生が著しく増加し、住民からの水質改善の要望も多くあります。

県では、富栄養化対策として下水道整備や農業排水の改善等の負荷源対策、ならびに湖沼の汚泥浚渫や水生生物植栽による湖内対策に取り組んできました。

環境科学センターでは湖沼水質保全対策事業の一環であるアオコ対策として、平成9年と10年のアオコ発生時期である5月から10月の間、三方湖と北潟湖の両湖沼について、毎週プランクトンの実態調査と水質調査を行なうとともに、藻類の培養試験によるアオコ抑制因子等について調査研究を行ないましたので、その結果を取りまとめました。

この調査結果について、まだまだ不十分なところもあるかと思われますので、お気付きのことについてご叱咤、ご激励のほどよろしくお願いいたします。

平成13年2月13日

環境科学センター所長
宮 永 信 幸